

＜学会発表＞ 発表日順

平成 28 年度

1. 村上俊祐, 北村哲, 有村純太郎, 高橋仁大 : ジュニアテニス選手のサービスおよびグ
ラウンドストロークにおける速度と回転数-K 県国体・競技力向上対策事業における
測定結果-. 第 28 回テニス学会, 2016.6(岩手)
2. 高橋仁大, 花木大樹, 村上俊祐, 三橋大輔, 村松憲 : テニスのゲームにおける打球速
度と回転数の実態 : 国際大会の女子選手を対象として. 第 28 回テニス学会,
2016.6(岩手)
3. Nagahara R, Mizutani M, Matsuo : Intra-individual difference in
spatiotemporal variables during maximal sprinting. 21st annual Congress
of the European College of Sport Science, 2016.7(Vienna, Austria)
4. Yanai A, Matsuo A, Maeda A, Nakamoto H, Mizutani M, Kanehisa H,
Fukunaga T : Accuracy in determining kinetic parameters with force plates
embedded under soil-filled baseball mound. International Conference of
Biomechanics in Sport , 2016.7 (Tsukuba, Japan)
5. Matsuo A, Mizutani M, Nagahara R, Kanehisa H, Fukunaga T : Contribution
of forward and vertical impulses during maximal 50m sprinting to the
maximum running velocity in sprinters. XXXIV International Congress of
Biomechanics in Sports, 2016.7(Tsukuba, Japan)
6. Nagahara R, Mizutani M, Matsuo : Ground reaction force of the first
transition during accelerated sprinting: A pilot study. XXXIV International
Congress of Biomechanics in Sports, 2016.7(Tsukuba, Japan)
7. Tsuno T, Nagahara R, Mizutani M, Matsuo A, Nakamoto H, Maeda A :
Relationship of base-running performance with running direction and its

change. XXXIV International Congress of Biomechanics in Sports, 2016.7(Tsukuba, Japan)

8. Kato T, Kintaka H, Urita Y, Maeda A : Kinematic and technical factors for acceleration of whole body in rotational shot put technique. XXXIV International Congress of Biomechanics in Sports, 2016.7(Tsukuba, Japan)
9. 前田 明：『日本初上陸、X-Surge のスポーツ時の疲労に対する改善効果』～鹿屋体育大学と株式会社わかさ生活の共同研究結果～. SPORTEC2016, 2016.8(東京)
10. 鈴木智晴, 山崎大夢, 蔭山雅洋, 藤井雅文, 中本浩揮, 前田明：直球 (150km/h) を見るトレーニングを行った主力打者の内省の経時的変化～主力打者の語りをしてがかりに～. スポーツビジョン研究集会第 23 回大会, 2016.8(東京)
11. 永原隆, 水谷未来, 松尾彰文：加速疾走における歩隔と疾走パフォーマンスおよび地面反力の関係. 第 2 回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
12. 中島一, 蔭山雅洋, 前田 明：打撃パフォーマンス改善のためのスローライナー トスバッティングの効果 –動作とインパクト精度の改善を目指して–. 第 2 回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
13. 蔭山雅洋, 中島一, 鈴木智晴, 藤井雅文, 前田 明：大学野球投手における地面反力フィードバック方法の検討 –投球速度が 117km/h から 133km/h に向上した成功事例をもとに–. 第 2 回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
14. 津野天平, 鈴木智晴, 藤井雅文, 杉浦綾, 水谷未来, 永原隆, 中本浩揮, 前田明：女子プロ野球選手における塁間走パフォーマンスの特徴～男子大学生野球選手との比較～. 第 2 回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)

15. 田中克典, 盛山鈴奈, 金高宏文, 松村 勲: 下肢にスポーツ障害を抱えた大学女子長距離競技者における体重免荷トレッドミルを用いた競技復帰トレーニングと走動作の変化. 第2回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
16. 濱中 良, 永原 隆, 松尾彰文, 小森大輔, 加藤忠彦, 近藤亮介, 金高宏文: 三段跳における助走歩数が跳躍パフォーマンスに及ぼす影響 -50m フォースプレートを用いた一人の被験者による実験的試技より-. 第2回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
17. 前田明, 莊巖哲哉, 岡部佑允, 北村佳子, 藤井雅文, 鈴木智晴, 津野天平, 蔭山雅洋, 水谷未来, 中本浩揮: XSurgeTM の摂取が大学野球選手の走パフォーマンスに及ぼす効果. 第2回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
18. 星野真澄, 坂本真嗣, 水谷未来, 藤井雅文, 鈴木智晴, 前田明: トラックマンを用いた通常の投球モーション・クイックモーション・スーパークイックモーションにおける球速及び回転数の違い. 第2回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
19. 鈴木 雅, 坂本真嗣, 弘中邦佳, 原村未来, 中谷深由紀, 亀田麻依, 水谷未来, 高井洋平, 前田 明: ボディビル世界チャンピオンのスクワットにおける意識の違いが筋放電パターンに及ぼす影響. 第2回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
20. 水谷未来, 鈴木智晴, 津野天平, 藤井雅文, 蔭山雅洋, 杉浦綾, 中本浩揮, 前田明: 女子プロ野球投手における投球動作の特徴. 第2回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)
21. 鈴木智晴, 杉浦綾, 水谷未来, 藤井雅文, 津野天兵, 蔭山雅洋, 中本浩揮, 前田明: 女子プロ野球選手におけるスイング動作の特徴一年間 5 ホームラン打者プロジェクトの実現に向けて-. 第2回スポーツパフォーマンス学会大会, 2016.8(東京)

22. 蔭山雅洋, 鈴木智晴, 藤井雅文, 中本浩揮, 前田明: 野球選手のスイング特性に関する横断的研究. 日本体育学会, 2016.8(大阪)
23. 永原隆, 水谷未来, 松尾彰文: 短期間における個人内の加速疾走パフォーマンス変動に影響する要因. 日本体育学会 67 回大会, 2016.8(大阪)
24. 亀田麻依, 木葉一総, 前田 明: バスケットボール選手におけるサイドステップ中の判断が切り返し動作に及ぼす影響. 日本体育学会第 67 回大会, 2016.8(大阪)
25. 中本浩揮, 池上剛, ガネッシュ・ゴウリンシャンカー: 異なる 2 つの運動伝染機構: action-driven & prediction-driven. モーターコントロール研究会, 2016.9(横浜)
26. 永原隆, 水谷未来, 松尾彰文: 最大速度局面における胸部・骨盤の動作と疾走速度の関係. 九州体育・スポーツ学会第 65 回大会, 2016.9(長崎)
27. 濱中 良, 加藤 忠彦, 中野 裕登, 小森 大輔, 金高 宏文: 拡散レーザーを用いたステップ計測の可能性 走高跳と三段跳の場合. 第 24 回日本バイオメカニクス学会大会, 2016.9(滋賀)
28. 永原隆, 原村未来, 水谷未来, 高井洋平, 松尾彰文: 小中学生の加速疾走における時空間変数と地面反力の変化. 第 24 回日本バイオメカニクス学会大会, 2016.9(滋賀)
29. 松尾彰文, 永原隆, 水谷未来, 金久博明, 土江寛裕, 広川龍太郎, 磯繁雄, 福永哲夫: 新開発の 50m フォースプレートによる日本のトップスプリンターのスタートダッシュにおける地面反力について. 第 24 回日本バイオメカニクス学会大会, 2016.9(滋賀)
30. 甲斐智大, 高井洋平, 瀧剛志, 福永哲夫: サッカーにおけるボールを受ける前(オフザボール)の 1 対 1 に着目した攻撃・守備の選手の移動速度および加速度の特徴. 第 14 回日本フットボール学会, 2016.10(福岡)

31. 高橋仁大, 村上俊祐, 村松憲 : 男子プロテニス選手のゲーム中のボール速度とボールの回転数. 第 29 回日本トレーニング科学会大会, 2016.10(横浜)
32. 水谷未来, 鈴木智晴, 藤井雅文, 前田明 : 女子プロ野球投手におけるボール速度が高い選手の特徴. 第 29 回日本トレーニング科学会大会, 2016.10(横浜)
33. 水谷未来, 亀田麻依, 前田明 : インステップキックにおける主観的努力度の違いが軸脚地面反力に及ぼす影響. 日本フットボール学会 14th Congress, 2016.10(福岡)
34. Murakami, S., Kitamura, T. and Takahashi, H. : Ball speed and spin rates of tennis strokes on Junior tennis players. 2nd Asia-Pacific Conference on Coaching Science, 2016.11(Shanghai, China)
35. Takahashi, H., Murakami, S. and Muramatsu, T. : The relationships between ball speed and ball spin of men's professional tennis matches. 2nd Asia-Pacific Conference on Coaching Science, 2016.11(Shanghai, China)
36. Nagahara R, Mizutani M, Matsuo : Relationship of step width with sprinting performance and ground reaction forces. 4th International Congress on Sport Sciences Research and Technology Support, 2016.11(Porto, Portugal)
37. 北村尚浩, 川西正志 : スポーツ振興に対する地域住民の声 : テキストマイニングによるアプローチ. 日本生涯スポーツ学会第 18 回大会, 2016.11(東京)
38. 松尾彰文, 永原隆, 水谷未来, 福永哲夫, 佐藤真太郎, 邑木隆二 : 50m フォースプレートによる女子スプリンターの 50m スプリント走時の地面反力. 日本スプリント学会第 27 回大会, 2016.12(埼玉)

39. 松尾彰文, 永原隆, 持田尚, 串間敦郎, 金子公宏 : 50m フォースプレートによる女子 100m ハードル走における地面反力. 日本陸上競技学会第 15 回大会, 2016.12(岡山)
40. 水谷未来, 鈴木智晴, 藤井雅文, 前田明 : 女子プロ野球投手におけるピッチング時の指の動きとボール速度との関係. 日本野球科学研究会第 4 回大会, 2016.12(東京)
41. 中島一, 蔭山雅洋, 村上光平, 前田明 : 野球打撃における経時的な変化から見た地面反力とスイング速度の関係. 日本野球科学研究会第 4 回大会, 2016.12(東京)
42. 蔭山雅洋 村上光平 鈴木智晴 中島一 前田明 : 野球打撃における打ち分け技術について~パフォーマンスが高い選手と低い選手を比較して~. 日本野球科学研究会第 4 回大会, 2016.12(東京)
43. Kai T, Takai Y, Wada T, Kanehisa H, Fukunaga T : Propulsive acceleration and velocity of 1 vs. 1 in soccer with relation to wins and losses. 5th NSCA International Conference, 2017.1(Chiba, Japan)
44. 鈴木智晴, 蔭山雅洋, 藤井雅文, 前田明 : 野球捕手におけるフットワークの違いが二塁送球に及ぼす影響. 第 5 回 NSCA 国際カンファレンス, 2017.1(千葉)
45. 前田 明 : トレーナー現場での実践知を発信するスポーツパフォーマンス研究. 第 5 回 NSCA 国際カンファレンス, 2017.1(千葉)
46. 大石祥寛, 蔭山雅洋, 藤井雅文, 鈴木智晴, 村上光平, 前田 明. : 大学野球選手に対する早朝のスプリントトレーニングは早朝および夕方の 30m 走タイムを短縮させるか? 第 5 回 NSCA 国際カンファレンス, 2017.1(千葉)
47. 村上光平, 蔭山雅洋, 中島一, 前田 明 : 野球打撃におけるスイング速度に影響を及ぼす下肢の動作要因に関する研究. 第 5 回 NSCA 国際カンファレンス, 2017.1 (千葉)

48. 永原 隆：小中学生における加速疾走能力の発達—PHV 前の停滞に着目して—。発育発達学会月例研究会，2017.1(東京)
49. Nagahara R : Wider step width is associated with higher sprinting speed and greater medial ground reaction force. International Research Forum on Biomechanics of Running-specific Prostheses, 2017.2 (Tokyo, Japan)

平成 29 年度

1. Matsuo T, Nakamoto H, Kageyama M : Comparison of properties of a pitched ball rotation measured by three different methods. 35th Conference of the International Society of Biomechanics in Sports, 2017.6 (Cologne, Germany)
2. Nagahara R, Mizutani M, Matsuo A, Fukunaga T : Ground reaction force across the first transition during sprint acceleration. International Society of Biomechanics XXVlth Congress, 2017.7(Brisbane, Australia)
3. 渡邊修希, 亀田麻依, 加藤忠彦, 村上光平, 木葉一総, 前田明：バスケットボールにおけるロングチェストパスの投距離を決定する動作要因 —熟練者と未熟練者との比較検討—。スポーツパフォーマンス学会大会，2017.7(東京)
4. 松尾彰文, 広川龍太郎, 馬場友也, 永原隆, 水谷未来, 金久博昭, 福永哲夫：コーチのアドバイスがスタートダッシュ技術に及ぼす影響。第3回スポーツパフォーマンス学会大会，2017.7(東京)
5. 村上光平, 亀田麻依, 藤井雅文, 鈴木智晴, 加藤忠彦, 前田 明：バドミントンのスマッシュ練習で球速は向上するか？ —大学野球選手を対象とした事例的研究—。第3回日本スポーツパフォーマンス学会大会，2017.7(東京)

6. 前田 明, 杉浦 綾, 荘巖哲哉, 村上光平, 鈴木智晴, 藤井雅文, 亀田麻依, 水谷未来: 合宿鍛錬期における前日のエクサージの摂取が女子プロ野球選手の走塁パフォーマンスに及ぼす効果. 第3回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2017.7(東京)
7. 杉浦 綾, 鈴木智晴, 藤井雅文, 亀田麻依, 水谷未来, 前田 明: 女子プロ野球育成チームの選手を一軍選手のパフォーマンスに近づけるための取り組み. 第3回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2017.7(東京)
8. 藤井雅文, 鈴木智晴, 水谷未来, 前田 明: 大学野球投手におけるリリースポイントでの発声が球質に及ぼす効果—スポーツパフォーマンス研究棟のマウンドを用いた指導事例—. 第3回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2017.7(東京)
9. 水谷未来, 鈴木智晴, 藤井雅文, 亀田麻依, 前田 明: 投球パフォーマンスに関するフィードバックシート作成の試み. 第3回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2017.7(東京)
10. 蔭山雅洋, 鈴木智晴, 藤井雅文, 大石祥寛: 発育期野球選手におけるボール速度・スイング速度に影響を及ぼす体力要因. 第3回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2017.7(東京)
11. 前田 明: スポーツパフォーマンス向上のため科学とトレーニング. 日本スポーツパフォーマンス学会, 2017.7(東京)
12. 高橋仁大: 多角的なスポーツパフォーマンス研究のアプローチ. 日本スポーツパフォーマンス学会・日本トレーニング指導学会共催シンポジウム「スポーツパフォーマンス向上のための科学とトレーニング」, 2017.7(東京)
13. Tsubaki T, Mizutani M, Shimokawa M, Takenaka K, Maesaka S, Maeda A: Contribution of the body segments to the striking velocity in kendo. 2017 INTERNATIONAL BUDO CONFERENCE 日本武道学会第50回記念大会, 2017.9(大阪)

14. Shimokawa M, Kintaka H, Takenaka K, Maesaka S, Maeda A : The difference between strike sound, step-in sound, and combinations of these sounds in kendo -From trials by a female university kendo athlete-. 第2回国際武道会議 日本武道学会第50回記念大会, 2017.9(Osaka, Japan)
15. Hamada H, Kawabata K, Tamura A, Kuboyama K, Fujita E, Maeda A : Characteristics of the Seoinage by "wrist involvement method" to prevent elbow injury. 日本武道学会第50回記念大会, 2017.9(大阪)
16. 劉凌駿, 濱田初幸, 水谷未来, 前田明 : トライアングルセオリー・シートを用いた指導が柔道初心者の大内刈動作に及ぼす影響. 日本体育学会第68回大会, 2017.9(大阪)
17. 大石祥寛, 蔭山雅洋, 村上光平, 水谷未来, 鈴木智晴, 藤井雅文, 前田明 : メディシンボールを用いたサイドスロートレーニングが大学野球選手のスイング速度に及ぼす影響 朝と夜のトレーニング効果の違いに着目して. 日本体育学会第68回大会, 2017.9(大阪)
18. 蔭山雅洋, 柴田翔平, 鳴尾丈司, 村上光平, 中島一, 前田明 : 野球の打撃方向の違いがスイング動作に及ぼす影響 コースに逆らわない打撃実施時のバットの動きに着目して. 日本体育学会第68回大会, 2017.9(大阪)
19. 西川知弥, 加藤忠彦, 亀田麻依, 前田明 : 競泳平泳ぎ選手における陸上歩行動作特性の解明. 第30回日本トレーニング科学大会, 2017.10(東京)
20. Takahashi H, Murakami S, Kashiwagi R, Okamura S : Analyzing ball speed and ball spin of tennis serve with Trackman tennis radar. 2nd Asia-Pacific Conference on Performance Analysis of Sport, 2017.10(Shanghai, China)
21. Kashiwagi R, Okamura S, Murakami S, Takahashi H : Ball speed and ball spin of ground strokes in an actual tennis matches. 2nd Asia-Pacific

Conference on Performance Analysis of Sport, 2017.10(Shanghai, China)

22. Okamura S, Kashiwagi R, Murakami R, Takahashi H : Relationship between racket swing and ball movement in tennis forehand strokes. 2nd Asia-Pacific Conference on Performance Analysis of Sport, 2017.10(Shanghai, China)

23. Murakami S, Kashiwagi R, Okamura S, Takahashi H : Comparison of forehand strokes in collegiate male tennis players between on game situation and on experimental situation -The evaluation based on the relationship between ball speed and ball spin rates-. The 2nd Asia-Pacific Conference on Performance Analysis of Sport, 2017.10(Holiday Villa Langkawi)

24. Murakami K, Kameda M, Fujii M, Suzuki C, Kato T, Maeda A : Effects of badminton's smash training on ball speed and throwing motion for baseball players. VII Convención Internacional de Actividad física y Deportes Programa científico, 2017.11(Habana, Cuba)

25. Ikegami T, Ganesh G, Nakamoto H. : Presence and absence of prediction errors during action observation induce distinct motor contagions. Society for Neuroscience SFN meeting, 2017.11(Washington, DC, US)

26. 松尾彰文, 永原隆, 水谷未来, 甲斐智大 : スポーツパフォーマンス研究棟における実践的研究. 映像情報メディア学会, 2017.11(鹿屋体育大学)

27. 高井洋平, 甲斐智大, 瀧剛志 : 優勢領域を用いたサッカーのスペースを利用した攻撃の検出とその応用. 映像情報メディア学会, 2017.11(鹿屋体育大学)

28. 小笠希将, 中本浩揮, 森司朗: プレッシャーが行為能力の判断及び大きさの知覚に及ぼす影響. 日本スポーツ心理学会第44回大会, 2017.11(大阪)
29. 岡村修平, 柏木涼吾, 村上俊祐, 高橋仁大: テニスにおけるフォアハンドストロークのラケットのスイングとボールの回転数の関係. 第29回テニス学会, 2017.12(東京)
30. 柏木涼吾, 岡村修平, 村上俊祐, 高橋仁大: テニスのゲームでのラリーにおけるグラウンドストロークのボールの速度及び回転数. 第29回テニス学会, 2017.12(東京)
31. 前田 明: トレーニング指導者が行うスポーツパフォーマンス研究. 日本トレーニング指導学会, 2017.12(東京)
32. 蔭山雅洋, 藤井雅文, 鈴木智晴, 前田明: ポジション別における投球速度を規定する体力要因の検討~中学生および高校生を対象としたフィールドテストを基に~. 日本野球科学研究会第5回大会, 2017.12(神戸)
33. 藤井雅文, 鈴木智晴, 水谷未来, 前田明: 大学野球投手におけるリリースポイントでの発声が球質に及ぼす効果-スポーツパフォーマンス研究棟のマウンドを用いた指導事例-. 日本野球科学研究会第5回大会, 2017.12(神戸)
34. 水谷未来, 鈴木智晴, 藤井雅文, 前田明: 投球パフォーマンスにおけるフィードバックシートの有効性-トラックマン・フォースプレートデータについて-. 日本野球科学研究会第5回大会, 2017.12(神戸)
35. 鈴木智晴, 藤井雅文, 村上光平, 中本浩揮, 前田明: 捕手における二塁送球の正確性を決定する動作要因. 日本野球科学研究会第5回大会, 2017.12(神戸)
36. 篠原康男, 永原隆, 松尾彰文, 前田正登: クラウチングスタートとスタンディングスタートにおける加速様態の比較検討. 日本陸上競技学会第16回大会, 2017.12(沖縄)

37. 松尾彰文, 永原隆, 金子公宏, 持田尚, 串間敦郎, 渡邊信晃, 比留間浩介, 磯繁雄: スプリントハードル走におけるインターバル間の地面力からみた男女差について. 日本陸上競技学会第 16 回大会, 2017.12(沖縄)
38. 若宮美咲, 篠原康男, 永原隆, 松尾彰文, 長野明紀: 関西インカレトップレベルの 110m ハードル選手における 1 歩毎の加速減速特性の分析. 日本陸上競技学会第 16 回大会, 2017.12(沖縄)
39. Thiel D, Shepherd J, Espinosa H, Kenny M, Fischer K, Worsley M, Matsuo A, Wada A: Predicting Ground Reaction Forces in Sprint Running Using a Shank Mounted Inertial Measurement Unit. The 12th Conference of the International Sports Engineering Association, 2018.3(Brisbane, Australia)
40. Nagahara R: Sprint acceleration: Sections and Determinants. UPSI Strength & Conditioning Conference 2018, 2018.3(Malasia)

平成 30 年度

1. Nagahara R: Sprint acceleration: Sections and Determinants. UPSI Strength & Conditioning Conference 2018, 2018.3(Malasia)
2. Murakami S, Kashiwagi R, Okamura S, Takahashi H: Ball data analysis in professional male tennis players' ground strokes - focused on difference of ball placement and position -. 6th World Congress of Racket Sport Science, 2018.5(Bangkok - Thailand)
3. Kashiwagi R, Murakami S, Okamura S, Takahashi H: Ball speed and ball spin of ground strokes of the rallies in an actual tennis tournament. 6th World Congress of Racket Sport Science, 2018.5(Bangkok - Thailand)

4. Okamura S, Kashiwagi R, Murakami S, Takahashi H : Relationship between racket swing and ball movement in tennis forehand stroke - experimental study by two participants -. 6th World Congress of Racket Sport Science, 2018.5(Bangkok - Thailand)
5. Takahashi H, Kashiwagi R, Okamura S, Murakami S : The relationship between ball speed and ball spin of serve in collegiate male tennis players. 6th World Congress of Racket Sport Science, 2018.5(Bangkok - Thailand)
6. 岡村修平, 柏木涼吾, 村上俊祐, 高橋仁大 : テニスにおけるフォアハンドストロークのラケットのスイングとボールの速度・回転数の関係 : ボールマシンを用いた複数の参加者による実験から. 第 30 回テニス学会, 2018.6(東京)
7. 柏木涼吾, 岡村修平, 村上俊祐, 高橋仁大 : テニスのゲームでのラリーにおけるグラウンドストロークのボールの速度及び回転数 (2) . 第 30 回テニス学会, 2018.6(東京)
8. 高橋仁大, 柏木涼吾, 岡村修平, 村上俊祐 : 大学男子テニス選手による試合時のサーブの速度と回転数の関係. 第 30 回テニス学会, 2018.6(東京)
9. 村上俊祐, 岡村修平, 柏木涼吾, 北村哲, 高橋仁大 : 日本トップテニス選手のグラウンドストロークにおける打球データ分析 : コースとポジションの違いに着目して. 第 30 回テニス学会, 2018.6(東京)
10. Nagahara R, Wada T, Sharp A, Neville J : IMU-based knee joint flexion test as an indicator of sprint performance: A pilot study. 23rd annual Congress of the European College of Sport Science, 2018.7(Dublin, Ireland)
11. Suzuki C, Fujii M, Murakami K, Nakamoto H, Maeda A : Operating factors that determine the accuracy of throwing to second base in the

baseball catcher. 23rd annual Congress of the EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE (ECSS) . 2018.7(Dublin, Ireland)

12. 亀田麻依, 永原隆, 水谷未来, 前田明: プロゴルファーのクラブヘッドスピードとフリーモーメントおよび鉛直力との関係—男女差の検討—. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
13. 宮下菜央, 金高宏文, 小森大輔: 立五段跳における総跳躍距離伸長に及ぼす要因を探る—2ヶ月間の単一事例の取組から—. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
14. 藤井雅文, 鈴木智晴, 佐藤伸之, 村上光平, 前田明: Rapsodo Baseball による打撃パフォーマンステストの有効性. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
15. 鈴木智晴, 佐藤伸之, 村上光平, 藤井雅文, 前田明: Rapsodo Baseball を用いた打撃パフォーマンステストの開発~大学野球選手を対象として~. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
16. 佐藤伸之, 鈴木智晴, 村上光平, 藤井雅文, 前田明: Rapsodo Baseball を用いた打撃パフォーマンスに関するフィードバックシート作成の試み. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
17. 杉浦綾, 鈴木智晴, 佐藤伸之, 村上光平, 藤井雅文, 前田明: WBSC 女子野球ワールドカップ日本代表に選出された選手の成長過程. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
18. 尾形晃広, 坂本真嗣, 前田明: スプリントにおいて意識する体のポイントがパフォーマンスに与える影響. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)

19. 村上光平, 鴻江寿治, 佐藤大輔, 緒方剛, 筒井奈津子, 鈴木智晴, 藤井雅文, 亀田麻依, 前田明: ヒトは生まれつき猫背である～“コウノ工理論”に基づく姿勢の定量化～. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
20. 水谷未来, 杉浦綾, 鈴木智晴, 藤井雅文, 亀田麻依, 前田明: 女子プロ野球投手における球種ごとの特徴. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
21. 河西大樹, 鹿子島宜美, 嶋田健人, 坂本真嗣: 野球のバッティング, ピッチング時に意識するポイントがパフォーマンスに与える影響. 第4回日本スポーツパフォーマンス学会大会, 2018.7(東京)
22. 前田明: 野球選手のための最新スポーツパフォーマンス研究. 日本スポーツパフォーマンス学会, 日本トレーニング指導者学会合同シンポジウム, 2018.7(東京)
23. 永原隆, 和田智仁: 慣性センサを用いた股関節屈曲パワーテストと疾走能力の関係. 日本体育学会第69回大会, 2018.8(徳島)
24. 渡邊修希, 村上光平, 加藤忠彦, 亀田麻依, 木葉一総, 前田明: バasketボールのロングチェストパスの投距離獲得に関する研究: 熟練者と未熟練者との比較検討. 日本体育学会第69回大会, 2018.8(徳島)
25. 蔭山雅洋, 中本浩揮: 大きさの異なるボールによる投球がボール速度とコントロールに及ぼす即時的効果. 日本体育学会第69回大会, 2018.8(徳島)
26. 和田智仁: 情報機器を活用した大学体育 ～鹿屋体育大学の事例～. 平成30年度大学体育指導者全国研修会, 2018.8(岡山)
27. Takahashi H, Okamura S, Kashiwagi R, Numata K, Murakami S: Comparing ball speed and ball spin of tennis serve between game situation and practice in collegiate male tennis players. World Congress of Performance Analysis of Sports XII, 2018.9(Opatija, Croatia)

28. Shinohara Y, Nagahara R, Matsuo A, Maeda M : Difference in acceleration patterns in two start techniques: Crouch and standing starts. XXXVI International Congress of Biomechanics in Sports, 2018.9(Auckland, New Zealand)
29. Colyer SL, Nagahara R, Takai Y, Salo AIT : Kinetic factors differentiating late sprint acceleration performance in sprinters and soccer players. XXXVI International Congress of Biomechanics in Sports, 2018.9(Auckland, New Zealand)
30. Nagahara R : Kinetics of single session intra-individual difference in sprint acceleration: A case study. XXXVI International Congress of Biomechanics in Sports, 2018.9(Auckland, New Zealand)
31. Wakamiya M, Shinohara Y, Nagahara R, Matsuo A : Step-to-step analysis of anteroposterior ground reaction force during 110-m hurdle. XXXVI International Congress of Biomechanics in Sports, 2018.9(Auckland, New Zealand)
32. Feser E, Macadam P, Nagahara R, Cronin J : The effect of lower limb wearable resistance location on sprint running step kinematics. XXXVI International Congress of Biomechanics in Sports, 2018.9(Auckland, New Zealand)
33. 若宮美咲, 篠原康男, 永原隆, 松尾彰文, 長野明紀 : スプリント走およびハードル走における1歩毎の加速減速特性. 第25回日本バイオメカニクス学会, 2018.9(東京)
34. 永原 隆 : 慣性センサを用いた膝関節屈曲パワーテストの妥当性. 第25回日本バイオメカニクス学会, 2018.9(東京)

35. 大島雄治, 永原隆: 短距離走のスターティングブロックからのクリアランス動作中における足圧中心の算出手法の提案. 第25回日本バイオメカニクス学会, 2018.9(東京)
36. 箭野柊, 松浦健二, 谷岡広樹, ステファンカールンガル, 和田智仁, 後藤田中: 集団対戦型競技における戦術理解のための一検討. 電気関係学会四国支部連合大会, 2018.9(愛媛)
37. 河鱒一彦, 佐藤博信, 田村篤敬, 久保山和彦, 濱田初幸: 筋電と加速度から推定する後受身時の頭頸部筋力発揮. 日本武道学会第51回大会, 2018.9(東京)
38. 濱田初幸, 前田明, 亀田麻依, 藤田英二, 劉凌駿, 田村篤敬, 久保山和彦, 河鱒一彦: 柔道の太外刈に対応する片手打ち後ろ受身の効果. 日本武道学会第51回大会, 2018.9(東京)
39. 椿 武, 水谷未来, 下川美佳, 竹中健太郎, 前坂茂樹, 前田明: 竹刀の長さが剣道における剣先速度と打突時間に及ぼす影響. 日本武道学会第51回大会, 2018.9(東京)
40. 高磯諒大, 宅野祐太, 下川美佳, 竹中健太郎, 前坂茂樹, 前田明: ゴムチューブを用いたトレーニングが正面打撃のパフォーマンスに及ぼす影響. 日本トレーニング学会大会, 2018.10(愛知)
41. 安部悠平, 甲斐智大, 森永浩嗣, 塩川勝行, 高井洋平: フィットネス-疲労モデルはサッカー選手に適用可能か? 第16回日本フットボール学会, 2018.12(東京)
42. 森永浩嗣, 甲斐智大, 安部悠平, 塩川勝行, 高井洋平: サッカーのトレーニングにおける主観的運動強度を規定する要因は、プレシーズンとインシーズンで異なるか? 第16回日本フットボール学会, 2018.12(東京)
43. 亀田麻依, 小林愛実, 木葉一総, 前田明: バスケットボール選手におけるサイドステップ中の判断がブレーキ力に及ぼす影響. 日本バスケットボール学会第5回大会, 2018.12(東京)

44. 佐藤伸之, 鈴木智晴, 村上光平, 藤井雅文, 前田明: トラッキングシステムを用いた打球の類型化とその特徴-世代別に見た打球の違い-. 日本野球科学研究会第6回大会, 2018.12(茨城)
45. Karungaru S, Matsuura K, Tanioka H, Wada T, Gotoda N: Ground Sports Strategy Formulation and Assistance Technology Development - Player Data Acquisition from Drone Videos -. 8th International Conference on Industrial Technology and Management (ICITM 2019) , 2019.3(Cambridge, U.K.)
46. 和田智仁: 東京2020・鹿児島国体に向けたスポーツパフォーマンス研究. 鹿児島大学学術情報基盤センター15周年記念式典, 2019.3(鹿児島)
47. 田中耕作, 吉岡利貢, 松村勲, 山本正嘉: 主観的な走フォームの評価と中長距離走能力との関係. 第31回ランニング学会大会, 2019.3(新潟)
48. 山口大貴, 金高宏文, 山本正嘉: スポーツ用自転車におけるペダリング技能を荷重特性から評価する. 日本コーチング学会第30回学会大会, 2019.3(東京)